

# ほっとねっと通信

第6号 H29・10 発行

NPO 法人は、日本語で特定非営利活動法人といい、「非営利」という言葉がはいっているためか、利益を出してはいけない団体、ボランティアの団体と誤解を受けることがよくあります。残念なことに協働の相手である行政職員でもこのような誤解をしている人が少なくありません。NPO 法人は利益を出していけないのではなく、得た利益は法人が定款に定めた事業のために使うこととされ、配当などとして会員に分配してはいけないというだけです。このような誤解は NPO 法人が新しいことに挑戦しよう、よい人材を育てようというときの大きな壁になっています。NPO 法人だからこそできることがたくさんある

はずです。それらを安定的、継続的に行なっていくためにも、NPO 法人とは何か、みんなに正しく知ってもらうことの必要性を感じているこのごろです。

子育てほっとねっとでは、今年これまで活動の柱になってきたファミリーサポートセンターと2つのつどいの広場の運営という市の委託事業に加え、子ども食堂、家庭訪問型子育て支援ホームスタートの実施に向けて動き始めました。

これまで培ってきたさまざまなご縁に私たちの活動が支えられていることを思い、感謝です。

理事長 西田由記子

## 子ども食堂 「みんなのテーブル」 はじまりましたよ～！！

プレオープン (8月10日、21日) オープン 9月5日(火)(けんちん汁と副菜 etc.)  
9月16日(土)(ますのつかみ取り塩焼き etc.)

10月3日(火)(混ぜご飯、巨大フライパンの目玉焼き etc.)

知名度ゼロからのスタート、それでもチラシやインターネットを見て来てくれたお客様、今後の課題は、人から人へと伝わり知音食堂で行う月2回の子ども食堂を知ってもらうこと。おいしい食事は知音食堂さんが提供してくれます。快適な居場所作りは、私達スタッフが頑張ります。

毎月第1火曜日の夜と、第3土曜日の昼に開催します。仕事帰りにお子さんと一緒に又は家族で、お子さんだけでもOKです。“はじめの一步”皆さん足を延ばしてみませんか。子ども食堂を手伝ってくれるボランティアの方も募集しています。興味のある方一緒に子ども食堂に携わってみませんか？待っています。

今後の予定は↓

10月21日(土) 11:30~13:30 11月7日(火) 17:30~19:30 11月18日(土) 11:30~13:30  
12月5日(火) 17:30~19:30 12月16日(土) 11:30~13:30 です。

担当スタッフ 島田 小黒 後藤 安田 熊久保 その他のボランティアで運営しています。



### NPO法人「ほっとねっと」会員募集中！

当法人の目的に賛同し、活動推進する個人および団体の方。下記までご連絡ください。

年会費⇒正会員＝2000円

連絡先 TEL 090-9230-8755

支え会員＝1000円(1口)

FAX 0287-47-6252

HP <http://hottonetto.com/>

Eメール [hotnet@tbz.t-com.ne.jp](mailto:hotnet@tbz.t-com.ne.jp)

代表 西田由記子



4月に入園を迎えた子どもたちがたくさんいて、これからほっぺはどうなるのかなとちょっと心配していたのですが、新しい小さな子どもたちが次々と来てくれるようになり、時は巡っていくのだなと思います。

4月から9月までの半年の来館者は901組、のべ1904人でした。昨年同時期に比べ6%

増です。特に0歳児の人数が増えていて、1.46倍。子育てのできるだけ早い時期にほっぺに出会ってほしいという思いから、今年度

8月ほっぺの畑ではたくさんのトウモロコシが採れて子供たちは大喜びでした。



は「赤ちゃん集まれ！」の日の年間予定表を作ったり、利用者の方の提案で「ねんねアートの日」を設けたり、赤ちゃん訪問をしている母子保健推進員の研修会でほっぺの紹介をさせてもらったりと新たな工夫を試みたのが功を奏したのではと思っています。

去年は定員に満たず実施できなかったBP講座も「はじめてママのための子育て応援プログラム」とちょっとわかりやすい研修タイトルにし、母子保健推進員さんにも協力を呼びかけたところ、7名の参加を得ました。不安いっぱい、分からないこといっぱいの子育てスタート時期に子育て仲間を作るのに最適のプログラムだと感じているので実施できてうれしいです。年度内にもう一度実施の予定です。いつもなにごとにもチャレンジングでありたいです。

スタッフ 西田 室井 星 小黒 八木沢

## 集団託児事業

090-9230-8755

先日、定期的に依頼をくださる生協さんのイベントの集団託児の際に、よく託児を利用されていたお母さんから「今までお世話になりましたが、幼稚園に入ったので託児は卒業になりました！」と、声をかけられました。託児スタッフにとっては一回一回が短い時間のかかわりですが、子どもにとっては短時間でも大好きなお母さんと離れるのは大変勇気がいることです。人見知りをしては泣いておんぶをされて、

回を重ねるごとに託児室で遊べるようになり、そのうちに一番のお姉さんになった女の子の姿と、毎回ほっとねっとの集団託児を信頼して預けて下さったお母さんのこの言葉に、とても嬉しくなったのと同時に、これからも安心して依頼してもらえるようにと身が引き締まる思いがした瞬間でした。

10月に新たな託児スタッフの登録が増え、77名になりました。また、ほっとねっとのホームページに集団託児の案内を載せることができ、より情報をお知らせしやすくなったと思います。活動件数やかかわるスタッフが多くなっても、スタッフ間や依頼者の方との連携や信頼関係を大切に、そしてお子さんとの出会いを大切にこれからも活動を重ねていきたいと思っています。



担当 安田



## “ま〜る”再委託にむけて

0287-36-6840

つどいの広場“ま〜る”も5年目を迎え、市の委託期間終了に近づいてきています。これからの“ま〜る”が少しでも前進できるよう、スタッフはもちろん、たくさんの方の意見を聞きながら考えていきたいと思えます。

ま〜るでは、きょうだいの利用が多い中、今年度になり上の子達が揃って幼稚園や保育園に進級し、下の子だけを連れてお母さん達が少しリラックスした様子で来ています。下の子達の成長の早さや、予想もしない行動には毎日驚きと笑いが絶えません。また、初めて利用の方が少しずつ増え、にぎやかに過ごしています。最近、ま〜る内に小さな日本地図を貼りました。利用者の多くが他県から移住してきている方で、ことば(方言)はもちろん、食・文化・学校と様々な特色の違いに話が盛り上がります。その盛り上がりのきっかけに意外と地図が役に立っています。きっかけは他にも色々ありますが、たくさんのお話をしながらお母さん達はいつの間にか

友達になっているようです。そんな関係が広がり、日々尽きることのない悩みを話し合う場がま〜るにできています。悩みをみんなで共有し、スタッフや先輩ママにも毎日問いかけられます。そんなお母さん同士の姿を見ていると、広場にかかわることができて本当に良かったと思います。これからも親子が気軽に利用できる場が続いていくよう取り組んでいきたいです。



スタッフ 高根澤 沢登 後藤 川島 藤田

## ホームスタート活動報告



090-9230-8755

7/7に白河図書館で行われたホームスタート講演会・活動報告会に6名が参加しました。白河の活動の様子や利用者さん・ビジターさんの生の声をきくことができ、少しずつでも進めていきたい活動だとあらためて感じました。終了後ホームスタートジャパンや白河の方と少しお話もでき、また白河のつどいの広場「おひさまひろば」の中にホームスタートの事務所もあるということで見学に行きました。広場がある「マイタウン白河」は建物自体リニューアルしていて、市民の交流や市民活動の拠点となるとも素

敵な施設になっていました。白河の活動からいろいろ刺激を受けた日となりました。

その後8/23にホームスタートの話し合いをし、12月に東京で行われるオーガナイザー研修会にオーガナイザー2名、トラスティ1名で参加できたらということになりました。それが理事会でも了承されたのでホームスタートに向けて1歩前進しました。

検討委員 磯 長瀬 佐々木 丑越  
齋藤 高根澤

↓ 特定非営利活動法人ホームスタート・ジャパンより ↓

**ホームスタートとは、**6歳未満の子どもが一人でもいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が、週に1回2時間程度訪問し、「傾聴」（親の気持ちを受け止めて話を聴くこと）と「協働」（親と一緒に家事や育児、外出などをすること）をする新しい家庭訪問型子育て支援ボランティアのしくみです。イギリスで40年以上前に始められ、世界22ヶ国、日本でも70以上の地域で始まっています。



このところ、二人目・三人目の出産に備えて登録される方が増えているなあと感じています。核家族で子育てしているお母さん・お父さんの安心に、少しでもお役に立てていれば嬉しいです。また、4月から一人親・低所得家庭への半額助成も始まり、該当される方の登録や利用も増えています。

先日、ファミサポスタートの頃から5年以上続いた送迎サポートの1つが終了しました。サポート会員さんも孫のように思っ下さり「今後も運動会の時などに見に行きます」と言っ下さりました。『家族以外にも子ども達のことを親身になって考えてくれる大人が増えていくことで、この地域がより暮らしやすい場所になっていってほしい』という設立当初の皆の思いは、少しずつ形になっているのではないのでしょうか。これからも、サポート会員さんがもっともっと増えるように働きかけていきます。

さて、最近センターのドアが新しくなりました。ガラス部分が大きく中がよく見えるので、初めて来る方も入りやすくなったと思います。壁も白く塗り「室内がとても明るくなったね」と、おかげさまで来所の方々にも好評です。

また、11月より産休に入る安田さんの代わりに久保さんが入ります。スタッフ4人で知恵と力を合わせ、サポート会員さんと一緒に、子育てしている方々の安心にこれからも寄り添っていきたいです。

スタッフ 長瀬 磯 安田 熊久保 田仲



## 産業文化祭福祉祭り参加！

10月14日(土)長寿センターにて

お天気が危ぶまれる中のスタートでしたが、なんとか終了まで持ちこたえてくれ何よりでした。

今年は、昨年の反省を踏まえてブース内のレイアウトの検討も綿密に行い、また、売り場担当、PR担当、子どもたちの遊び(手形スタンプ)担当等、時間帯によって手薄にならないようローテーションを組むなどして臨みました。

また、例年行っている会員による手作り作品の販売に加え、リサイクル品のバザーも行い、売れないのでは？の心配もよそに思いのほか好評でほっとしました。手形スタンプコーナーは、子どもたちの手が真っ青になりながらも、笑顔が絶えずにぎわっていました。

当日は、ボランティア15名(会員)のご協力のもと、しっかりと子育てほっとねっとのアピールもできたのではないのでしょうか。立ち寄ってくださった方々にも深く感謝申し上げます。



## 編集後記

- ・「ほっとねっとのホームページが欲しい」は、理事長はじめ皆さんの願いだったことでしょう！この度、熊久保さん他数名の方々のご協力で遂に7月、ページアップが実現いたしました。「子育てほっとねっと」[検索](#) で、どうぞご覧ください。活動内容すべてにリンクがあり解りやすいです。
- ・おめでたいお知らせ。ファミサポのスタッフ、安田智子さんが12月出産のため11月から、ほっとねっと初の「産休・育休」に入ることになりました。元気な赤ちゃんのお誕生をお祈りいたします。
- ・次回「ほっとねっと通信」に皆さんの楽しい話題を投稿してみませんか！ 090-1818-2855 佐々木